

第21回JCカップ

5 v s 5 ミニサッカー大会

競技支について

- ①本大会は本大会のオリジナルルールを採用する。
- ②試合時間は20分（前半10分 後半10分）とし、インターバルは3分とする。
- ③試合は、すべてリーグ戦とする。
各ブロックを4つのリーグに分け、総当りのリーグ戦を行う。
勝ち3点、引分け1点、負け0点。勝ち点が同じ場合は、得失点差、得点数で各ブロック全体の中で最終順位を決定する。（同一のブロックのコートから2チームの表彰チームの可能性もある。）
- ④順位決定に関してすべて同点の場合はサドンデスPK戦とする。但し、その方法については当日大会運営から伝える。
- ⑤チーム登録は、1チーム5名以上10名以内とする。ブロックを越えることも含め2チーム以上の重複登録は認めない。もし違反が発覚した場合チームを失格とします。
- ⑥ユニホームは同一チームであることが分かるものを着用すること。Tシャツ等でも可。
すね当て・ストッキングは危険防止の為必ず着用して下さい。

競技支夫見貝り

- ①競技場、ゴールはフットサル、ボールは4号球とする。
- ②試合は5人を超えない競技者で構成される2つのチームによって行なわれ、ゴールキーパーは無しとする。選手交代は競技中に自由にできるが、交代してコート内に入る競技者は出る競技者が完全に交代ゾーンの外に出た後、交代ゾーンから競技場に入ることができ回数の制限は無い。
- ③試合は、相互審判とし主審及び副審の2名によって行い、各々反対サイドを行動し、協議規則を励行させる。タイムキーパーは本部が行う。主審・本部の判定は絶対であり、これに従うこととする。
- ④アウトオブプレー後は、全てキックインにてプレーを再開する。
キックインを行う競技者は：ボールをキックするとき、いずれかの足の一部をタッチライン上、またはタッチラインの外のピッチ面につける。
守備側のチームの競技者は：キックインを行う地点から5m以上離れる。
正しくキックインを行わない場合は、相手チームの競技者がキックインを行いゲーム再開する。
- ⑤オフサイドは採用しない。
- ⑥接触プレー及びスライディングは反則行為とする。
- ⑦一切の反則行為と不正行為は主審の判断でペナルティキックとする。
- ⑧ペナルティキックは守備側のゴールライン上より、無人の相手ゴールへキックして行う。相手プレーヤーはフィールド外に必ずいることとし、キッカーはフィールド内にいるプレーヤーがキックすること。得点とならなかった場合は、ゴールライン上よりキックインして競技を再開する。
- ⑨退場者は、その試合に復帰できない。但し、代替りの競技者が入れるものとする。
- ⑩ゴールキック、キックイン及びキックオフからの直接ゴールは認められない。
- ⑪その他の競技規則は日本サッカー協会制定の競技規則によるものとする。ただし、天候、設備その他運営上の理由により変更する場合があります。